

廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日
C 2		B 1	R 4	C 3
7				
A 10-30 P 8-30		A 10-00 P 9-20		
30ヶ	30ヶ			
20°5	20°			
1.02652		定為壞容 チメセ器 欠測シ砂		
SSW 緩	NE 緩			
鹽	鹽イ			
鰯	鰯カ			
キ ハ タ	フメ キ バ ハ カ チ タ			
三	一ニ七			
三、七〇〇	九、七五〇			
三、〇〇〇	二六、五〇〇			
午前八時三十分濱田沖着針路ヲ流 場ニ取リ午前十時三十分投網開始 午後八時三十分終了全十二時熊野 ニ入港ス	北西風強ク休泊漁獲物ヲ賣却ス	午前八時熊野浦出帆午後九時二十 分終了十二時熊野入港	高浪ナルモ漁獲物賣却ノ爲メ油津 ニ午前八時出帆ス 午後六時入港 南東ノ強風雨トナル	本日漁獲物ヲ賣却ス 休泊(終了)

二月ニ至リテハ荒天多ク從テ出漁日數尠カリキ出漁スルモ比較的海上波高ク終日從流スル事稀ナリキ漁況ハ前月ニ引續キ好漁ナラザリキ。  
要スルニ本年度ハ一般漁漁ノ状態ナリシモ大阪及名古屋地方ノ鮮魚運搬船ノ廻航アリテ魚價ハ終始例年ヨリ高價ナリキ出漁船數ハ年々増加シツ  
トアリシモ本年度ニ入りテハ依然約五十隻ノ増加ヲ見ルニ至レリ。

## 沿岸漁業調査試験

### 附 小型發動機漁船試験

本縣ニ於ケル漁業ハ規模稍大ナル漁業ノミ古來異常ノ發達ヲナシ幾多有望ナル沿海漁業ハ今尙殆ド願ミラレズ却テ他  
縣來漁者ノ跳梁ニ委セツ、アリ惟フニ斯ノ状態ハ過去ニ於ケル漁業上ノ天惠厚カリシ爲メ二三ノ漁業ヲ以テ能ク終年  
ノ利得ヲ收メ敢テ其他ヲ願ミルノ必要ナク其惰性ノ致ス所ハ徒ニ在來漁業ニ執着シ偶々其覺醒セル者モ過去ニ於ケル  
操業ノ經驗ナキヲ以テ其技能ヲ缺如シ又其漁場ノ實在ヲ知ラズ爲メニ或二三漁村ノ外ハ沿海漁利ノ收拾ハ依然トシテ  
閑却セラレツ、アリ。

近來沖合漁業ハ漸次伸張シ從テ其組織經營次第ニ增大チ來シ起業亦容易ナラズ加之漁獲高ノ増進ハ必シモ利益ノ增收チ伴フモノアニアズシテ往々其事業ニ蹉跌チ來シ漁村ノ經營チ危殆ナラシムルコト尠カラズ蓋シ漁村ノ堅實ナル基礎ハ沿海漁利ノ拾收ニ待ツモノ多ク沖合漁業ノ伸張ト相俟テ其進歩發達チ企圖スルチ要ス是チ以テ廣ク一般小漁業者ノ經營ニ適切ナル漁業チ勸奨スルハ刻下ノ急務ナルチ以テ新ニ漁業上ノ調査研究チ施行スルト同時ニ其作業ノ敏活チ期シ併テ小型發動機漁船ノ普及竝ニ其經濟的能力チ試驗スルチ目的トシテ大正三年度建造シタル松島丸（船幅八尺、八馬力石油機關附）チ供用シテ各種ノ調査試驗チ施行シタリ其要領左ノ如シ。

## 一、底延繩漁業試驗

### 試驗ノ趣旨

本試驗ハ所屬漁船松島丸チ供用シ前年度來ノ繼續ニ係ルモノニシテ前年ノ豫察調査ニ鑑ミ鱧延繩ハ更ニ南方沖合ニ於ケル漁場探檢チ行フノ必要上分離シテ僚船竹島丸ニ移シ本年度ハ專ラ瀬物延繩漁業試驗チ施行セリ。

惟フニ本縣近海ハ地勢上多數ノ島嶼淺礁チ擁シ海底ノ起伏稜々トシテ底質若礁石礫ノ類チ以テ成リ加フルニ四時暖潮ノ影響チ受ケ其間潮流ノ緩急渦動チ起シ幾多有用底魚類ノ好棲場チ爲シ從來一本釣延繩漁業ノ興隆稍見ルベキモノアリシモ近時漁船ノ矮小脆弱ナル爲メ屢々遭難ノ危險アリ沿海漁場ノ荒廢ハ漁利ノ拾收完カラズシテ逐年衰微ニ傾ク乃チ本場ハ所屬漁船松島丸チ以テ瀬物延繩漁業試驗チ行ヒ動力附小型漁船ノ適否チ究ムルト共ニ漁場ノ探檢擴張ニ從事シ銳意斯業ノ開發ニ勉メントス。

### 漁具ノ構造

本漁具ハ海底岸礁間チ纏絡投繩スルノ趣向ナルチ以テ可及的撚チ軟ニシ張力大ナルモノチ用タルチ要シ熊本縣玖摩產及宮崎縣都城產ノ麻績等ニテ製作セリ。

幹繩 二子右撚徑一分二厘(片子ハ織草平五)ニシテ三百三十六尋(重量約六斤)ヲ以テ一鉢トナシ兩端ハ折返シテ長サ

四尺ノ「ち」ヲ作りテ接續ニ便ニシ且ツ十二尋ノ點ヨリ間隔八尋ヲ保ツテ枝系四十本ヲ附ス

枝系 二子右撚徑八厘(片子織草十二)長サ三尋一尺(一斤ノ織草ヲ以テ六十本ヲ作り得)ニシテ幹繩ニ比シ纖維ノ小ナル上等品ヲ使用ス

幹繩枝系共ニ椎皮一回染メトナス

釣鈎 鍛鐵線三十匁(徑約一分一厘ニシテ百匁)及三十五匁(徑約一分三厘ニシテ百匁)ノ二種ヲ使用シ錫鍍金ヲナス

浮標繩 麻製二子右撚徑一分六厘四十五尋ヲ以テ一房トナシ水深ニ依リ一定セザリシモ浮樽一個ニ普通二房乃至三

房ヲ備フ椎皮一回染メ

浮標樽 杉赤味厚八分製ニシテ組重ネノ便宜上大、中、小ノ三種トナシ五個ヲ備ヘ其大サ次表ノ如シ

種類	個數	高さ	徑	一個新調費
大	二	一尺七寸	二尺二寸	一圓二十錢
中	二	一尺五寸五分	二尺	一圓十錢
小	一	一尺四寸	一尺八寸	九十錢

繩鉢 杉板(厚二分)ヲ以テ高サ二寸五分長徑二尺短徑一尺五寸ノ輪ヲ作り底部ハ糸(綿糸二十號大)ヲ以テ二寸七分

角ノ網簀トナス

沈石 橢圓型ノ天然石ニシテ長サ一尺内外ノ緒ヲ附シ次ノ三種ヲ混用ス

元石 投繩漁具ノ兩端浮標樽下ニ附シ重量約一貫匁トス



中石 投繩漁具間ニアル浮標樽下ニ附シ重量約七百五十匁トス

手石 枝系七八本目置ニ附スルモノニシテ重量七八十匁ナリ

參考ノ爲メ漁具ノ新調費(一鉢分)ヲ示セバ

幹繩及枝系 麻七斤代 金四圓二十錢

釣 鈎 針金六十匁代 金十二錢

繩 鉢 一個代 金十八錢

手間 賃 四人分 金一圓六十錢

染料其他雜費 金二十錢

計 金六圓二十錢

### 漁具使用法

動力附小型漁船能力ノ批判ニ資スル爲メ左ニ該漁船ヲ以テ行ヒシ漁具使用法ヲ記サン

#### 一、漁場ノ選定

漁場ハ海底岩礁又ハ石礫質ヨリ成リ起伏ヲ有シ水深三十尋(五尺一尋以下全シ)乃至百二十尋ノ漁礁(俗稱ヲ曾根ト言フ)ニシテ最適水深ヲ七十尋乃至九十尋トス殊ニ潮流急ナレバ深礁ニ於ケル使用容易ナラズ又淺礁ト雖モ潮流速度三湮以上ニ達スレバ使用困難ヲ感ズ然レドモ全ク潮流ヲ感セザルハ海底岩礁ニ漁具ノ纏絡状態ヲ不良ナラシムルヲ以テ二分ノ一湮乃至一湮ノ潮流アルヲ好適ナリト云フベシ。

#### 二、投繩作業

餌料ノ供給ヲ受ケ未明漁場ニ達シ潮流ノ方向緩急ヲ檢測シ(普通浮標樽ヲ投下シ推測チナス)之ヲ横斷シツ、投繩ス而シテ漁場ノ形狀ニ

ヨリ潮流ニ從フコトアレドモ潮流ニ溯航シツ、投下スルハ岩礁ニ漁具ノ纏絡ヲ不良ナラシムルヲ以テ之ヲ避ケザル可  
ラズ。

投繩ハ操舵掛(採舵竝ニ「テレ」  
「ケラス」チ司ル)一名投繩掛一名裝餌掛二名外ニ投繩掛助手一名計五名ヲ以テ胴間右舷ヨリ行フ(時ニ都合  
上左舷ヨ  
リ投下スル  
コトアリ)最初漁場ノ廣狹餌料ノ多寡ニ應テ使用漁具鉢數ヲ決定シ準備完了スルヤ投繩掛ハ浮標樽ヲ投シ浮標繩ヲ繰

出シ幹繩ノ一端ヲ結附セシ元石ヲ投シ幹繩ノ走出ニ連レ順次裝餌セル枝糸ヲ放出シ其七八本置キニ手石ヲ幹繩ニ結着  
シツ、投入シニ鉢乃至ニ鉢置キ鉢ノ接合部ニ浮標樽及中石ヲ結附シ(浮標樽ヲ附セサル接  
合部ニハ手石ヲ附ス)最後ニ元石ヲ入レ浮標樽ヲ投  
下ス。

### 三、揚繩作業

投繩終了後三十分乃至五十分間ヲ經過セバ一端ヨリ揚繩作業ヲ行フ其方法ハ操舵掛一名揚繩掛五名計六名ヲ以テ胴ノ  
間ヨリ行ヒ船ヲ常ニ潮下或ハ風下ニ置ク様操舵シ機力ヲ以テ徐々ニ溯航シ順次一鉢毎ニ繰リ納メ揚繩ス漁具ノ離礁困  
難トナレバ機力ヲ増シ潮上ニ航走シテ離礁セシム若シ中途幹繩ノ切斷セルニ會セバ海底ニ小錨ヲ投シ(竹製ニシテ俗稱  
「シバリ」ト云フ)  
繩ヲ之ニ罹ラシメ漁具ノ發見ニカム。

### 四、漁獲物ノ處理竝ニ漁具ノ保存

漁獲物ハ丁寧ニ洗滌シ砂泥等ノ汚物ヲ除去シ雨水又ハ海水ニ對シ被覆ヲ施シ甲板上ニ竝列シ歸航ノ上鮮魚トシテ市場  
ニ販賣ス。

漁具ハ常ニ乾燥ヲ充分ナラシメ摩損ヲ檢シ補修ヲ加ヘ次回ノ使用ニ便ナラシム一漁季間ニ二三回ノ染繩ヲナシ漁季終  
了セバ乾燥ノ上釣鈎ヲ離脱シ俵ニ入レ屋内ニ格納ス其保存年限ハ未ダ不明ナレドモ約二三ケ年間ヲ超エザルベシ。

## 餌料

瀬物延縄漁業ニ關聯シ最モ苦慮焦心スルモノハ餌料ノ供給ニシテ實ニ本漁業ノ生命ナリ今主要ナル二三種ノ餌料ニ就キ調査試験セシテ以テ左ニ詳述スベシ。

一、二番柔魚

柔魚ハ縣下川尻沿岸ニ漁獲セラル、一番柔魚(まゝいかト稱ス)ヲ使用スルコトアレドモ最モ好適ナルモノハ二番柔魚ニシテ本縣南部沖合ニ於ケル漁場ハ左ノ如シ。

漁場	漁期	漁況
揖宿郡川尻附近	自三月上旬至三月中旬	一番柔魚ヲ主トシ二番柔魚之ニ次キ往年谷山漁船ニ多數餌料ヲ供給セシモ現今ハ漁況振ハズ
坊岬ヨリ枕崎沖合ニ至ル附近	自十一月下旬至十二月下旬	二番柔魚ヲ主トシ坊枕崎方面ヨリ時ニ百隻余モ出漁スルアリ漁獲稍々饒ニ川邊郡白澤津漁船ノ餌料供給地ナリ
佐多竹之浦沖合	自二月下旬至三月下旬	二番柔魚ヲ主トシ谷山漁船ニヨリ時々釣獲セラル、ノミニシテ饒産セス
種子島東南部沖合	自十二月下旬至三月上旬	二番柔魚ヲ産シ熊野浦ヲ根據地トセル谷山漁船ノ餌料ノ供給地ニシテ時々饒獲セラル、コトアリ一月ヲ盛漁季トス
屋久島原沖合	冬	多數漁船ノ出漁スルコトナク時々饒獲セラル、コトアリト雖モ不同ナリ
屋久島湯泊沖合	冬	數十隻ノ漁船出漁スルコトアリ稍々獲テ得ルコトアリ主トシテ附近ノ一本釣漁船ニ供給ス
口之永瓦部島七釜浦	自一月下旬至二月下旬	谷山漁船ガ各自釣獲スル最良漁場ニシテ最盛漁季タル一月下旬ヨリ二月中旬ニアリテハ一夜能ク五百尾ヲ得ルコト困難ナラズ
硫黄島南沖合	冬	谷山漁船ノ釣獲スルコトコロニシテ饒獲セシテ聞カス
黒島南東部	自十二月中旬至二月中旬	川邊郡白澤津漁船ノ釣獲スル漁場ニシテ一夜能ク數百尾ヲ得シコトアリト云フ
宇治島東岸	冬	片浦串木野地方ノ一本釣漁船ノ釣獲スル漁場ナリ

柔魚ハ産卵ノ爲メ夜間沿岸淺處ニ群游シ來ルモノニシテ同一漁場ニアリテモ漁季ノ長短漁獲ノ多寡ハ年ニヨリ非常ナル差異アリ一般ニ沖合島嶼ニ於ケル漁場ハ漁期短ク時々群游ノ度濃厚ナルコトアルモ漁況ニ不同アリ、鹿兒島灣口附近ニ於ケル漁場ハ漸次荒廢ニ傾キ延繩漁船ガ餌料不足ノ爲メ空シク休漁スルコト多ク餌料柔魚漁場ノ探檢擴張ヲ圖リ其供給ヲ圓滑ナラシムルハ本漁業ノ開發上目下ノ急務ナリト云フベシ。

魚價ハ一尾二錢乃至七錢ヲ唱ヘ一尾ノ裝餌ヲ良シトスレドモ餌料不足ナルトキハ二三分シテ使用ス一般ノ瀬魚類ニ對スル唯一ノ好餌料ニシテ殊ニ赤腹魚(かんばち)ノ如キハ他ノモノハ釣獲少シ。

## 二、鯖

多ク丸鯖ニシテ南薩沖合ニ於ケル鯖延繩屋久島北部沖合ニ於ケル一本釣漁船ニ依リ供給ヲ受ク又種子島東南部沖合ニモ饒獲セラル、コトアリ一尾四錢乃至十三錢ヲ唱ヘ普通一尾一斤大ノモノヲ三個位ニ胴切リトナシテ用ヒ鯖族ヲ始メトシ多ク瀬物魚ノ好餌料タリ。

## 三、ウルメ鱈

冬季揖宿郡山川村附近及川邊郡知覽村地方ニ於テ多ク焚入八駄網ニヨリ漁獲セラレ(一尾重量二十五匁ヨリ十匁位)鹽藏又ハ鮮魚ノ儘一尾乃至二尾ヲ裝餌ス鯖族其他ノ瀬物類ニ適ス。

其外鯨鰐小鯖等ヲ使用スルコトアリ殊ニ活餌トシテ使用スルヲ適良トス。

## 瀬魚ノ習性調査

本縣南部漁礁ニハ暖海ノ常トシテ多種多様ノ底魚饒産シ其名稱モ地方ニ依リ方言多岐ニ分レ一定セス此處ニ本年漁獲セシ魚族ニ就キ調査セル習性ノ大要ヲ述ベ從漁上ノ資料ニ供セントス。



魚名	別稱	體重	最重	最輕	平均	習性
マソウシ	アカバラ	八	貫八百	匁三	貫	瀬魚中最優ナルモノニシテ底質時ニ岩礁附近、砂地ヲ游行スルコトアルモ主トシテ岩礁又ハ石礫地ヲ好ミ水深百二十尋ヨリ二三十尋附近ニ棲息シ普通七八尋附近魚群モ濃厚ナリ而シテ水深大ナレバ一般ニ魚體大ナルノ感アリ該魚ニハ沿岸ノ岩礁ニ棲ムモノト比較的沖合ノ岩礁上ニ棲息スルモノト二種アリ前者ヲ俗ニ「マソウシ」ト稱シ魚體概シテ大ナレドモ群集スルコト尠シ十一月ヨリ翌年三月迄テ盛漁季トシ三月ノ候産卵チナスモノ、如ク該時季ニ至レバ著シク沿岸淺所ニ來リ往々大敷網ニ依リ漁獲セラレ十一月頃體長五寸餘ニ至レバテ沿岸岩礁ノ間ニ見ルコトアリ又十二月月上旬頃北ヨリ南ニ迴游シ肝臟郡觀音崎沖ニ於テハ「ノ」魚道ヲ作りテ數日間群チナシテ南下スルチ見ラレ且少其砂地通過ハ敏速ナルモノ、如シ
シラソウシ	アカバラ	五	貫八百	匁二貫五百	匁	岩礁岩盤地ヲ好ミ水深八十尋附近ニ棲息スルコトアレドモ普通三十乃至五十尋間ニ多ク時ニ沿岸水深五尋附近ノ岩礁内ニ見ルコトアリ魚價マソウシニ劣
マアラ		二十	貫二	貫八	貫	最深八十尋迄棲息スレドモ三十乃至五十尋附近ニ多ク常ニ荒キ岩礁ヲ好ム盛漁季ハ十一月ヨリ翌年四月上旬迄トシ四五月ノ候産卵ス
イギリス	モイオ	二	貫三百	匁八	匁	鱈ノ一種ニシテ水深八十尋乃至四十尋間ニ棲息シ潮流ノ急ナル岩礁石礫地ヲ好ム
イモガラ		二	貫四百	匁一	貫	イギリスト同様鱈ノ一種ニシテ習性亦同シ
タカバ	ハマアラ	八	貫一	貫一貫五百	匁	鱈ノ一種ナルモノ、如ク水深百三十尋ヨリ七十尋間ニ棲息シ潮流急ナル岩礁ヲ好ム
アカアラ		三	貫一貫五百	匁二	貫	鱈ノ一種ニシテ體眞紅色チ呈シ水深四十尋以下ノ淺キ岩礁内ニ棲息ス
エソアラ	エソアラ	二十四	貫十五	貫五	貫	常時ハ水深二百尋以上底質泥沙地ニ棲息スルモノ、如ク三月上旬ニ至レバ産卵シ産卵ノ爲メ沿岸百尋内外ノ淺處ニ來リテ三月ヨリ四月迄テ漁季トシ南隣地方硫黄島屋久島南部ハ好漁場ナリ
ス、キアラ		二	貫四百	匁七	匁	鱈ノ一種ニシテ百尋以上ノ深處ニ棲ム
ドンコアラ		二十	貫五	貫十	匁	鱈ノ一種ニシテ習性ス、キアラニ酷似ス
タバメ	クチビダヒ	一貫二百	匁四百	匁七	匁	「アカタバメ」ト稱スル別種アリ普通ノモノヨリ高値ナルチ常トス何レモ水深三十尋乃至六十尋岩礁ヲ好ミ五六月頃ヨリタバメ」ト稱シ産卵ノ爲メ沿岸四五尋ノ淺處ニ群集スルコトアリ

沿岸漁業調査試験

ウキン	十	貫三百	匁四	貫	南方吐噏刺群島附近ニ饒産スルモノニシテ水深三十尋以上ノ岩礁ヲ好ム体色銀白ヲ呈シ體形扁平ニシテ鰭ニ酷似ス
イソノハ	三	貫五百	匁八	匁	體色暗赤色ヲ呈シ數本ノ銳利ナル齒ヲ有シ水淺六十尋以下ノ淺礁ヲ好ム
タイメ	三	貫一	貫二	貫	漁季ハ冬季節分過キテ主トシ水深六十尋以下ノ岩礁又ハ石礫地ニ棲ミ四月ノ候沿岸水深十尋附近ニ群來スルコトアリ
シロタイ	三	貫三百	匁一	貫	海底ノ礁上荒ラカラザル處ニ多シ
マツダヒ	三	貫七百	匁二	貫	水深五六尋ニシテ礁上荒ラカラサル處ヲ好ミ體多ク淡紅色ヲ呈シ體色體形ニヨリ「アカマツダヒ」ガナガマツダヒ「イナゴマツダヒ」等ノ別稱アリ
オキノコヒ	三	貫五百匁八	匁一貫五百匁	貫	體色青白色ニシテ體形紡錘狀ヲナシ一見淡水産鯉ニ酷似シ水深五十尋乃至七十尋ノ砂質地ヲ好ミ種子ニ鍋割管根附近最多シ
コゼン	一	貫五百匁三	匁八	匁	大ナルモノヲ「ガマ」ト稱シ水深四五十尋附近ニアリ小ナルモノハ沿岸淺處ニ棲
ツグロ	十五	貫八	貫二	貫	△南薩地方ノ壑網ニ能ク漁獲セラレ屋久島南岸ヲ好漁場トス
ノクリ	一	貫五百匁百	匁八	匁	水深三十尋乃至八十尋附近ノ底質砂地ヲ好ミ體黒色ニシテ背鰭ニ一ツノ棘ヲ有シ往々鱗延繩ニ依リ漁獲セラレ魚價高値ナリ

試験ノ經過

本場所屬小型發動機附漁船松島丸（構造ハ前年度事業報告書ニ詳記セリ）ニ延繩漁具十三鉢竝ニ附屬具トシテ萬力、手鉤、銚各一挺餌料捕獲用具トシテ鳥賊鯛等ノ漁撈具ヲ積載シ縣下谷山村ヨリ斯業ニ經驗ヲ有スル者ヲ雇入レ船頭トナシ外ニ漁夫五名機關部員二名計八名ヲ搭乘セシメ大正四年十二月五日ヨリ翌年二月二十七日迄八十五日間前後出漁日數二十日間ニ十三個處ノ漁場ニ涉漁シ二十餘種ノ底魚（主トシテ瀬魚類）五百餘尾此賣價五百〇九圓餘ヲ漁獲セリ左ニ試験經過ノ概要ヲ示サンニ十二月ノ中ハ餌料ヲ川尻及大川地方ニ仰キ佐多岬沖合竝ニ竹島硫黃島附近ニ涉漁セシガ川尻附近ニ於ケル鳥賊ハ近年稀ナル不漁ニシテ常ニ餌料ノ缺乏ヲ訴ヘ僅ニ大川地方ヨリうるめいわしヲ得テ之ニ充當スル

ヲ得タリシモ北西風強烈ニシテ海上怒濤ヲ戰ハシ出漁意ニ任セズ一月ニ入り天候稍々平靜ニ復シ出漁容易トナレリ種子島東南岸熊野浦沖合ニ餌料(烏賊・鯖)ヲ求メ屋久島種子島近海ニ從漁シテ好漁ヲ收メタリ二月中ハ餌料捕獲漁場ヲ口之永良部七釜浦ニ選ビ一夜能ク三四百尾ノ烏賊ヲ得テ供給豊富トナリシヲ以テ屋久島口之永良部島附近ノ未開漁場ノ探檢ニ勉メタレドモ中旬以後ハ近年稀ナル荒天勝トナリ出漁ヲ阻止セラル、事多カリキ茲ニ漁獲金高竝ニ直接操養ニ要セシ經費ヲ列舉シ其收支ヲ示セバ左ノ如シ。

一金五百〇九圓七十二錢 總 漁 獲 金 高

内 譯

金百二十三圓七十五錢 十二月 中 漁 獲 金

金二百四十六圓四十四錢 一月 中 漁 獲 金

金百三十九圓五十三錢 二 月 中 漁 獲 金

一金二百六十四圓五十二錢 總 經 費

内 譯

金百圓 四十錢 輕油 七十五罐 代

金二十圓 十錢 機械油 十四罐 代

金八圓 七十錢 燈用石油 三罐 半 代

金四圓 三十六錢 種子油 一罐 代

金一圓 八十六錢 ウエス 把 代

金三十八圓 七十八錢 餌 料 代

金 圓 天蠶糸 代

金一圓 十一錢 木炭 四俵 代

金七圓 十四錢 カ ー バ イ ト 二 罐 代

沿岸漁業調査試驗

金一圓〇七錢  
金七十二圓

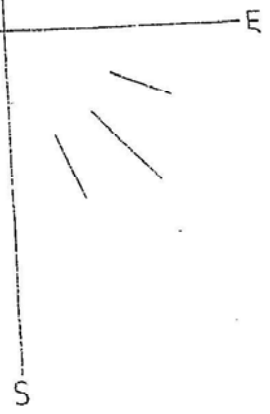
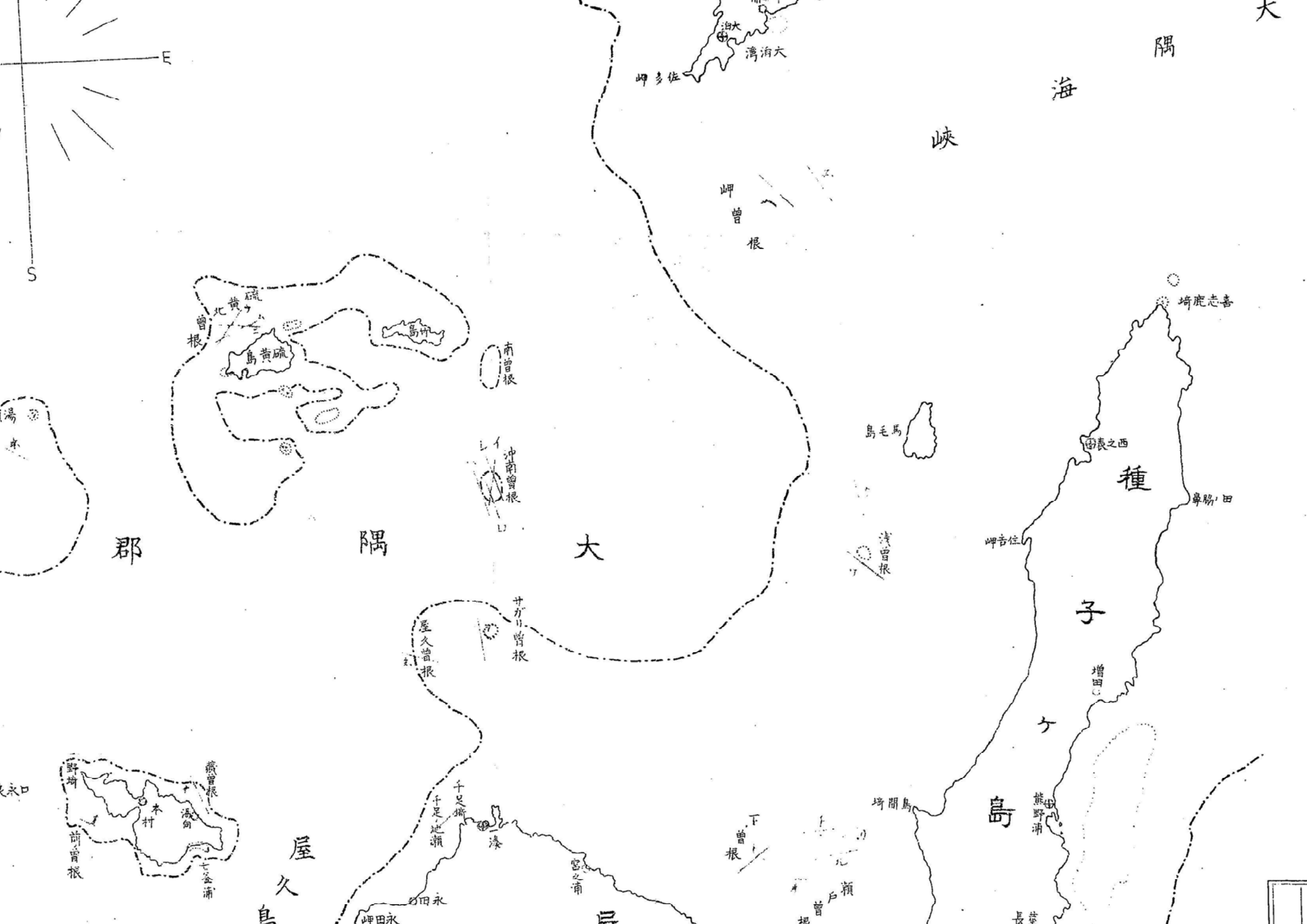
食糧一俵代  
食費三ヶ月分

一人一ヶ月金三圓(但シ民間事業ニ依ヒ換算ス)

差引利益金二百四十五圓二十錢

試驗經過日誌 (松島丸)

月日	漁具使用時間	天候	風位	風力	漁況	水温	比重	氣温	潮流方向速度	底質	水深	使用釣數	漁獲物種類及尾數	漁高	記事
十二月五日	P, M 0 <sup>11</sup> -00 <sup>h</sup> P, M 4-00	(C, R)	W <sup>4</sup>	イ	23°	1.02711	19°5	S E	緩	R	90-120	6	柔魚 赤腹三松鯛二四、 ウレメ タイメ五、 小鱸二	元七六	諸般ノ準備ヲ整ヘ午後一時鹿兒島出帆 山川港ニ向ヒ全七時全所入港 根據地ヲ山川港ニ選定セシテ以テ豫備品ヲ陸揚シ正午全所出漁餌料鳥賊釣ノ爲メ川尻沖合ニ到リ鳥賊四十尾ヲ釣獲シタルモ荒天ノ爲メ山川ニ歸ル 午後二時半、山川出漁川尻沖合ニ鳥賊釣ヲ行ヒ二十二尾ヲ得タルモ餌料トシテ尙ホ不足ノ爲メ他船ニ之レヲ求メシモ一般ニ不漁ナリ 餌料用潤目鰯購入ノ爲メ川尻沖合ヨリ大川浦ニ廻航シ本夜沖合ニ鳥賊釣ヲ試ミ二十五尾ヲ釣獲ス
十二月六日															早朝沖合ニ於テ八田網船ヨリ潤目鰯ノ供給ヲ受ケ正午漁船着投繩シ午後西風強烈トナリ全四時揚繩后佐多岬大泊ニ假泊ス
十二月七日															午前六時半假泊地出帆漁獲物賣却ノ爲メ谷山ニ向ヒ午後三時全所入港
十二月八日															早朝漁獲物賣却シタル後谷山出帆大川浦沖合ニ達シ本夜鳥賊釣ヲ行ヒ十尾ヲ釣獲セリ潮流急激ニシテ一般ニ鳥賊不漁ナリ



郡

隅

大

子

島

種

隅

大

大隅灣  
大隅岬  
大隅島嶼

大隅岬  
大隅島嶼

大隅島嶼

大隅島嶼

大隅島嶼

大隅島嶼

大隅島嶼

大隅島嶼

大隅島嶼

大隅島嶼

大隅島嶼

大隅島嶼  
大隅島嶼  
大隅島嶼  
大隅島嶼

大隅島嶼

大隅島嶼

大隅島嶼

大隅島嶼

大隅島嶼

大隅島嶼

大隅島嶼

大隅島嶼

大隅島嶼

大隅島嶼

大隅島嶼

大隅島嶼

大隅島嶼



沿岸漁業調査試験

自 二 月 一 日	三 日	四 日	五 日	六 日	七 日	八 日	九 日	十 日	十一 日
			AM 8-50 AM 10-50						
			B,C	B,C					
			NNE 4	NNE, 1					
			γ	チ・ト					
			22°4	22°4					
			1.02607	1.02624					
			16	17					
			NNW	SE					
			急	緩					
			R,s	R,st					
			40-50	50-70					
			6	11					
			鯉 1	サ 1					
			カ 白鯛二、雜魚六	バカ 赤腹一、八、鱈八、 タメ三、 白鯛一、松鯛二、 小鯛一、雜魚三					

五七〇

荒天休泊

午前十時二十五分山川港出漁種子島  
 熊野浦沖合ニ航走シ島賊釣ヲ行ヒ五  
 十七尾ヲ漁獲ス附近ニ多數ノ從漁船  
 ナ見レ  
 午前四時鳥賊釣中止、竹崎附近ニ於  
 テ更ニ鳥賊購入ノ上(ト)漁場ニ於  
 シ投網更ニ(チ)漁場ニ從流シ午後二  
 時十五分揚網後熊野浦沖合ニ於テ再  
 度鳥賊釣ヲ行フ  
 午前三時十五分鳥賊釣中止途中、鳥  
 賊、鰻ヲ購入ノ上漁場ニ達シ從流中  
 北東風強烈ナリシヲ以テ午前十時五  
 十分揚網後西之表ニ避泊ス  
 午前五時四十八分避泊地出帆ス途中  
 風浪高ク航海困難ヲ極ム午後四時五  
 十分山谷山港ニ着  
 漁獲物ヲ賣却シタル後鹿兒島ニ向ヒ  
 石油積載ノ上山川港ニ向フ午後七時  
 山川港着  
 荒天ノ爲メ休漁、船具漁具ノ補修作  
 業ヲ行フ  
 風力益々強烈トナル、休漁ス  
 風力稍々衰ヘタルヲ以テ山川港出帆  
 種子島ニ向ヒシモ途中尙ホ風浪強烈  
 ナルヲ以テ再度山川港ニ歸航ス  
 天候恢復セシヲ以テ午前三時十分山  
 川出漁川尻ニ於テ(チ)鰻ヲ購入  
 ノ上種子島熊野浦沖合ニ達シ島賊釣ヲ  
 行フ

廿一日	廿二日	十九日	十八日	十七日	十六日	十五日	十四日	十三日	十二日
AM6-20 PM0-25	AM8-50 AM11-00						AM9-10 PM2-40	AM9-00 PM2-00	
B	C						B,C	B	
SW/S, 1. WNW, 2							N, 1	NW, 2	
カ・ワ	ヲ						ル	×	
21.4	21						21°	21°	
1.0686	1.02589						1.02596	1.02637	
17.5	16.1						20.5	13.5	
E/S	SE						不定	NW	
緩	急							一 漉	
R,	R,st						R,	R,st	
30-70	50-70						60-70	50-10	
13	9						12	10	
イ	イ						イ	イ	
カ 小タバメ三 雑魚七	カ 赤腹二、鱸一三 タバメ二、雑魚七						カ 白鯛七、鱸二三 赤腹二、鱸一三 雑魚六	カ 赤腹七、鱸一九 白鯛二、小鱸二	鱸一〇一尾、 鱸二五尾、 シヲ以テ賣却ス、 シヲ以テ賣却ス、

四六〇

八九二〇

一七〇

多量ノ餌料鳥賊並ニ鱸ヲ漁獲セシモ  
天候不穩トナリ從漁シ能ハザルヲ以  
テ熊野浦ニ避泊ス全夜再度餌料鳥賊  
釣ヲ行フ  
午前六時廿分鳥賊釣中止ノ上漁場ニ  
向ヒ投縄ニ回ニ及ビシモ潮流不食ト  
ナリ午後二時揚縄後熊野浦沖合ニ廻  
航シ餌料漁獲ニ勉ム  
早朝鳥賊釣ヲ中止シ漁場ニ向ヒ二回  
投縄セリ午後二時四十分揚縄後漁獲  
物賣却ノ爲メ谷山ニ向フ  
午前三時半谷山着漁獲物ヲ賣却ス  
漁具、船具ノ補修ヲ行ヒ休漁ス  
午前七時谷山出帆山川港ニ向フ途中  
知林島附近ニ於テ海家壹尾ヲ漁獲シ  
全十時半山川港ニ投錨ス  
午前八時十八分山川出漁種子島熊野  
浦沖合ニ達シ鳥賊釣ヲ行フ附近ニ出  
漁船尠ナシ鳥賊四八尾ヲ漁獲ス  
朝來風力加ハリ且ツ餌料不足ノ爲メ  
賊釣ヲ行ヒ二丁五尾ヲ漁獲ス  
本日尙ホ風力衰ヘズ降雨サヘ見ル熊  
野浦ニ避泊ス午後四時半熊野浦出  
漁鳥賊釣ヲ行ヒ鳥賊五八尾ヲ漁獲ス  
午前二時半鳥賊釣中止シ漁場ニ向フ  
本日潮流激甚且ツ天候不良ニシテ海  
上高浪作業困難ヲ極ム午前十一時揚  
縄後熊野浦沖合ニ達シ鳥賊釣ヲ行フ  
午前一時半鳥賊釣ヲ中止シ漁場ニ向  
フ午後六時二十分ヨリ二箇所ニ投縄  
ス午後〇時二十五分揚縄終了後谷山  
ニ向フ全九時三十分谷山着



沿岸漁業調査試験

冊 一 日	三 十 日	廿 九 日	廿 八 日	廿 七 日	廿 六 日	廿 五 日	廿 四 日	廿 三 日	廿 二 日
	AM 8-5 PM 5-13			AM 10-10 PM 2-50					
	C			B, C					
	NNW.3			風無					
	レタ			≡					
	19.7			20.9					
	1.02731			1.02637					
	13			20					
	NNE			E, N					
	緩			緩					
	R, st			R, or S					
	60-90			35-45					
	16			12					
	イ			イ					
	カ 鱈六、 鱈二、 鯛三 雑魚一			カ 赤腹八、 オキノ コヒ一 三 雑魚二					
	元五合			二七九合					
	朝來谷山着ノ上流獲物ヲ賣却ス			朝來流獲物ヲ賣却シ船體大掃除ヲ行フ				機關ノ掃除、並ニ漁具ノ補修ヲ行ヒ且ツ繩染ヲ行フ	
	午前五時五分一湊出漁(タ)漁場ニ至リ投繩更ニ(レ)漁場ニ向ケ出漁ス時ニ風力増加シ海上不穩トナリタルヲ以テ谷山ニ向フ			午前七時五分鳥賊釣ヲ中止シ西之表ニ至リ漁獲物ヲ賣却ス本日北西風強烈ノ爲メ休漁ス					
	風力衰ヘタルヲ以テ屋久島漁場ニ向フ途中再度風力増加シ來リ一湊ニ避泊ス			午前三時四十分鳥賊釣ヲ中止シ種子島南方鍋釜附近ニ漁場探檢ヲ行フ午後二時五十分風力強烈トナリシヲ以テ從漁中止熊野浦沖合ニ到ル					
				午前二十分山川港出漁川尻附近ニ餌料ノ探査ヲ試ミタル後種子島熊野浦沖合ニ達シ鳥賊釣ヲ行フ					
				午前九時廿分谷山出帆鹿兒島ニ廻航ノ上必要品ノ種載ヲナシタル後山川港ニ向フ午後六時十分山川港ニ着					
				本日繩染メヲ行ヒ完成ス					

十	九	八	七	六	五	四	三	二	二月一日
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
						AM 6-20 AM 9-45	AM 9-10 PM 6-05		
						B	B, C		
						SSE <sup>1</sup>	NNW <sup>2</sup>		
						ネ	ツ・ソ		
						19.5	19.4		
						1.02570	1.02599		
						16	14.8		
						ENE	ENE		
						緩	緩		
						R, st	R, gS,		
						50-90	70-120		
						4	12		
						イ	イ		
						カ 網一、白網一、 烏賊二六〇	カ 赤腹九、鱸二、 鱸二、鱸二、		
						云々云々			

午前七時十分谷山出帆全十時四十五分山南川港ニ着シ石油ノ積載ヲ行フ本日南方面天候不穩ノ兆アルヲ以テ休泊ス  
 午前九時十分山出帆、餌料烏賊釣ノ爲メ日之永良部島七釜浦ニ到リ午後六時半ヨリ烏賊釣ヲ行ヒ二百七十尾ヲ釣獲ス  
 午前五時四十五分烏賊釣ヲ中止シ全九時十分梅吉管根ニ達シ投縄シ更ニ返シ烏賊釣ヲ行フ  
 午前四時廿分烏賊釣ヲ中止シ千足岬附近ニ至リテ投縄シ更ニ他漁場ニ向ハントスル途中風浪烈シ爲メニ谷山ニ向フ  
 朝來谷山ニ於テ漁獲物ヲ賣却シタル後鹿兒島ニ廻航シ必要品ノ積載ヲナシ再度谷山ニ歸航ス  
 荒天ノ爲メ休漁器具ノ補修ヲナス  
 午前九時谷山出帆山川ニ向ヒ午後〇時廿分山川着荒天ノ爲メ休漁  
 荒天ノ爲メ休泊  
 山川出帆口之永良部ニ向フ途中風浪高ク一時川尻ニ避泊セシモ夜ニ入り益々強烈トナリ遂ニ山川ニ廻航避泊ス  
 午前九時十分山川出帆七釜浦ニ向ヒ全夜烏賊釣ヲ行ヒ二百五十尾ヲ釣獲ス

沿岸漁業調査試験

廿一日	二十日	十九日	十八日	十七日	十六日	十五日	自十三日至十四日	十二日	十一日
	AM 7-20 AM 12-60		AM 10-35 PM 2-50						AM 8-00 AM 12-00
	C		C,E						C,R
	SE 3		N/E <sub>2</sub>						W 3
	4		7						ナ
	18.0		21.0						21.1
	1.02688		1.02731						1.02707
	12		15						13.8
	W		NNE						E/S
	急		緩						急
	R		R,S						R,S
	70-90		75-110						70-110
	6		7						8
	イ		イ						イ
	カ 赤腹一、七、鱈二、 小鰭一、		カ 赤腹二、タイメ三、 小鰭二、鱈四、 羽鱈一、						カ 赤腹一、鯛一、 鱈四、六、七、 鳥賊四、六、七、
	四二〇		六三〇						五二〇
四五	午前四時五十分山出帆全八時廿分 谷山着漁獲物ヲ賣却ス、本日風烈	午前二時鳥賊釣ヲ中止シ硫黄島ニ向 ヒ全七時二十分着直チニ投網シタル ニ潮流激變シ且ツ大風雨ニナリタル ヲ以テ山川港ニ避泊ス	午前七時三十分七釜浦出漁午前十時 三十五分漁場ニ達シ投網セシニ潮流 急加フルニ風浪高ク午後十一時川尻 ニ入港ス	朝來漁獲物ヲ賣却シ石油積載ノ爲メ 山川ニ廻航シ全夜ハ川尻沖合ニ鳥賊 釣ヲ行ヒ二十尾ヲ漁獲ス	午前七時梁生出帆尾閘附近ヲ探査セ シモ鳥賊漁況面白カラズ全夜七釜浦 ニ到リ鳥賊四十三尾ヲ漁獲ス	午前九時四十分一湊出漁梁生沖ニ鳥 賊釣漁場探檢ノ爲メ廻航セシモ天候 又々不穩遂ニ粟生ニ避泊ス	荒天ノ爲メ休漁、機關ノ検査、掃除ヲ ナス	夜來暴風雨ニ變シ危險トナリシヲ以 テ七釜浦出帆屋久島一湊ニ避泊ス 海上風浪高シ	朝來天候不穩ナリシモ藏ノ會根ニ出 漁セシモ風浪高ク正午過ギ從流中止 七釜浦ニ於テ全夜鳥賊釣ヲナス

廿七日	廿六日	廿五日	廿四日	廿三日	廿二日
AM 9-20 AM 11-50		AM 9-20 PM 2-27			
B		C			
WNW.3		NNW.3			
エ		ウ			
18.2		19.6			
1		1.02649			
14.5		10.7			
SW		SW			
緩		緩			
R,St		R,S			
70-85		70-90			
4		10			
イ		イ			
カ 赤腹一二、		カ 赤腹五、鯛二、 雑魚二、珊瑚壹 (標本トナス)			
NW		BC			
北西		晴曇			
SE		C			
南東		曇			
<p>荒天ノ爲メ休漁</p> <p>風浪尚ホ高ク午前九時谷山出帆山川 港ニ向ヒ午後一時全所休泊</p> <p>午後三時三十分山川出漁川尻沖合ニ 到リテ烏賊釣ヲ行フ夜半ヨリ海上稍 ク平穩トナル</p> <p>午前三時四十分川尻沖合出漁硫黄島 ニ到リテ投繩セリ、本日珊瑚ヲ漁獲 セリ、全夜川尻ニ引返シ烏賊釣ヲ行 フ</p> <p>午前七時十五分川尻沖出漁佐多岬沖 合ニ達シ投繩セリ、午前十一時五十 分揚繩後谷山ニ向ヒ午後十一時五十 分谷山着</p> <p>早朝漁獲物ヲ賣却ス本日ヲ以テ試験 終了ニ付キ鹿兒島ニ廻航ス</p>					

備考

s	AM	午前
砂		
St	PM	午後
石		
GS	R	雨
砂礫		
R	B	晴
岩		
NW	BC	晴曇
北西		
SE	C	曇
南東		

風力ハ六階級ヲ用ヒ水深ハ五尺一尋トス、潮流ハ目測ニ依リ二漚以上ヲ急トシ以下ヲ緩トナス

結論

一、本試験ニヨリ得タル小型發動機付漁船ノ操業上ノ特長

(イ) 機力ヲ用ヒ天候激變定マリナキ冬季ノ海上ニ於テ能ク任意ニ且機敏ニ漁場ノ選定並ニ變轉ヲ行ヒ得ベク又廣ク餌料ノ供給ヲ仰ギ得ルヲ以テ出漁回數ヲ増シ且ツ迅速確實ニ漁獲物ノ販賣ヲナシ得ベシ。

(ロ) 機力ヲ應用シ投繩揚繩共ニ其作業ヲ自在敏速ナラシメ殊ニ揚繩作業ニアリテハ潮上ニ逆航シ得ルヲ以テ激潮ニ遭會シ繩具ノ離礁引上困難ナルトキ操作容易(帆船ノ如キハ一時作業ヲ中止スルコトアリ)且ツ速ニシテ喪失スルコト尠ク操舵進退ノ妙ヲ得レバ推進機ニ漁具纏絡ノ虞無シ左ニ二三ノ例ニ依リ作成セル作業時間表ヲ掲ゲテ參考ニ供ス

月日	使用鉢數	作業時間	一鉢平均作業分	水深尋	潮流速度	漁獲尾數	氣象並ニ海上ノ模様
大正四年 正月九日	六	三十分	二時間	八〇乃至 一〇〇	三分ノ一湍	四	雨晴レ後ノ西風強烈高浪ノ爲メ操業困難到底普通帆船ノ從流ヲ許サズ
廿九日	八	四十分	二時十分間	一〇〇	四分ノ三湍	四	潮流ノ變轉休息時間ヲ利用シ北東強烈且高浪ヲ冒シ操業セリ普通帆船ノ出流シ得ベキ日ニアラズ
大正五年 一月廿日	九	三十分	一時十分間	六乃至 七	三湍	二	北西風強烈ニシテ風浪高ク操業困難帆船ノ操業ヲ許サズ
廿一日	九	三十分	一時五分間	三乃至 七	二分ノ一湍	五	海上平靜ニシテ作業容易ナレドモ岩礁荒ク揚繩作業困難ナリ
廿七日	六	三十分	一時五分間	四乃至 五	二分ノ一湍	二	海上平穩ニシテ作業容易ナリ
卅日	八	三十分	一時五分間	六乃至 七	一湍	五	風浪高ク帆船ノ操業困難ナリ
二月三日	八	三十分	二時三分間	六乃至 一〇	二湍	六	北西風ニシテ波浪稍高ク加フルニ鱖ノ爲メ漁具ヲ切斷セラレ揚繩作業ニ困難ス
十八日	四	三十分	一時十分間	八〇乃至 一〇〇	一湍	二	北東風吹キ海上浪高シ
廿五日	六	三十分	一時七分間	七乃至 九	一湍	四	北西風強烈ニシテ海上波高ク帆船ノ作業容易ナラス
平均	七、四強	三十分	一時三分間	四、八弱	一、二弱	二弱	

右表ノ如ク一鉢平均投縄作業ハ約五分間ニシテ揚縄作業ハ其約三倍ヲ要スルヲ知ルベシ勿論操作ノ遲速ハ當時ノ海況水深岩礁ノ荒坦漁獲物ノ多寡漁具ノ纏絡切斷ノ狀況等ニ至大ノ關係ヲ有シ巧拙熟否ノ之ニ伴ヒ一定スルモノニ非スト雖モ帆船ニ於ケル漕櫓ノ勞ヲ省キテ之ヲ投縄揚縄作業ニ充テ強大ニシテ確實ナル機力ノ利用ト相俟テ操作ノ敏活ヲ期シ得ベク能ク強風激潮ニ抗シテ從漁シ得ルヲ以テ帆船ニ比シ優ニ二倍以上ノ作業能力ヲ發揮シ餌料ノ供給潤澤ナリセバ漁具使用數量ノ増大ヲ認ムルヲ得ベシ

(ハ)「プロペラー」上下裝置ナルヲ以テ餌料タル烏賊鱈ノ採捕ニ便ナルノミナラズ淺處ノ出入容易ナリ

(ニ)營業者ニ對スル勸奨

前項ニ説述セルガ如ク延繩漁業ニ對スル小型發動機付漁船ノ能力ト其經費ノ尠少ニシテ逐次好漁場ノ發見ニ伴ヒテ收益ノ増加ヲ來セシトハ著シク民間營業者ノ注目スルトコロナリ既ニ沿岸漁村ノ開發上小規模ナル此種漁船ヲ建造シ鯖漁業ト相關連シテ本漁業ヲ企劃スルモノ續出スルニ至レリ

## 二、鯖釣漁業試驗

本試驗ハ前年來ノ繼續試驗ニシテ小型發動機附漁船松島丸ヲ供用シ其經濟的關係竝ニ操業上ノ得失ヲ研究シ更ニ鯖漁場ノ探檢擴張ヲ行ヒ其生棲洄游狀態ヲ究明シ該漁業ノ革新開發ニ資セントスルノ趣旨ニ依リ大正四年四月一日ヨリ七月下旬ニ至ル期間乗組漁夫六名機關部員二名計八名ヲ以テ縣下屋久島近海竝ニ朝鮮釜山沖合ニ前後三十五回試驗ヲ試ミタリ(漁具別圖參照)左ニ之ガ經過日誌ヲ掲グ。

### 鯖釣漁業試驗經過日誌

#### 一、屋久島近海之部

沿岸漁業調査試験

四月一日	自二日	至三日	四月一日	自二日	至三日	四月一日	自二日	至三日	四月一日	自二日	至三日
B			C			B			C		
NW, 3			NW, 2			NW, 3			NW, 2		
25			21.5			25			21.5		
1.02855			1.02636			1.02855			1.02636		
WNW			SSW			WNW			SSW		
緩			急			緩			急		
13			19			13			19		
12			7			12			7		
鱈			鱈			鱈			鱈		
3			5			3			5		
鯖			鯖			鯖			鯖		
100.1			15.尾			100.1			15.尾		
20			3.0			20			3.0		
100.250			100.0			100.250			100.0		
荒天休漁			荒天休漁			荒天休漁			荒天休漁		
餌料用鱈鱈入ノ爲メ肝部高須沖合ニ廻航シ昔黒鱈三百八十斤ヲ購入據蔵トナス			午前六時從漁中止山川港ニ向ヒ漁獲物ヲ賣却ス			午前四時從漁中止山川港ニ向ヒ漁獲物ヲ賣却ス			午前六時從漁中止山川港ニ向フ、一般ニ魚群濃厚ナレモ海水濁シ釣獲振ハズ午後一時三十分山川著		
午前十時廿五分山川港出漁午後六時半頃ヨリ天候平靜トナリ午後七時三十分漁場ニ達シ從漁ス海水稍々清透魚群多シ			午前八時栗生出漁午後六時梅吉曾根ニ到達シ從漁湖流急激ニシテ一夜四回溯航ス			正午海上平穩ニ復シタルヲ以テ漁況探査ノ爲メ栗牛浦ニ廻航ス			海上高浪一湊ニ休泊		
東風強烈ナリシ爲メ屋久島一湊ニ避泊ス			午前六時山川港出漁午後二時漁場附近ニ至リシモ			東風強烈ナリシ爲メ屋久島一湊ニ避泊ス			午前六時山川港出漁午後二時漁場附近ニ至リシモ		





沿岸漁業調査試験

九	八	七	六	五	四	三	二	五月一日	廿	
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	
	B	B,C	B		C	B			C	
	SW1	NE1	SW1		SW2	W2			ESE3	
	225	22.6	23.5		22.5	21.6			19.8	
	1.02640	1.02694	102899		1.02590	1.02614			1.02566	
	N	N	NNE		NNE	NE			NNW	
	緩	急	急		急	急			緩	
	20.2	20	20.5		18	18			20	
	鹽 鯉	鹽 鯉	鹽 鯉		鹽 鯉	鹽 鯉			鹽 鯉	
	3	4	5		4	4			4	
	鯖	鯖	鯖		瀬 鯖 物	鯖			鯖	
	一四二	七	一七〇		一五七	八			四	
	一六	一六二	一七六		一三二	一〇八			三三	
	一三〇		一〇〇		一三〇	一六〇				
	漁獲物賣却ノ爲メ谷山ニ至リ更ニ山川ニ歸港ス時 ニ天候險惡甚ダシ	午前五時三十分從流中止シ湯瀬ニ假泊ス午後一時 卅分假泊地出流午後六時ヨリ從流天候險惡ノ爲メ 午後十二時釣獲中止ス	午前一時三十分從流ヲ中止シ水成川ニ至リテ漁獲 物ヲ賣却シ午後一時三十分更ニ流場ニ向ヒ午後十 時廿五分ヨリ從流ス	午前九時三十分山川港出流午後七時十分流場着從 流ス附近ニ從流船五十隻ヲ見ル	午前一時從流ヲ中止シ流獲物賣却ノ爲メ谷山港ニ向 ヒ更ニ山川港ヘ入港ス	午前四時從流ヲ中止シ湯瀬ニ至リテ瀬物立繩釣チ 行ヒ更ニ午後七時流場ニ至リテ從流午ス	午後一時一湊出流午後七時廿五分流場着直チニ從 流ス	荒天休漁	天候險惡トナリシヲ以テ午前四時卅分屋久島一湊 ニ避泊ス	午前六時三十分山川出流午後五時卅分流場着從流 止ス モシモ次第二天候險惡トナリ午後十二時釣獲ヲ中 止ス

計	十五日	十四日	十三日	十二日	至十一日
		0			
		NE, 2			
		20.6			
		1.02537			
		WNW			
		急			
		20			
		1			
		鹽			
		錮			
		4			
瀬物		鯖			
	八、六、七	八三			
		一九二			
		三、五、七、〇			
		四三、八、〇			
			水積載ノ上午前七時枕崎出帆午後五時漁場ニ至リテ從漁ス	荒天休漁	荒天休流
			午前五時釣獲ヲ中止シ漁獲物賣却ノ爲メ谷山ニ向フ途ニ水漬ヲ行フ、本日ヲ以テ試験ヲ終了ス	午前八時山川港出帆水購入ノ爲メ枕崎ニ向ヒ正午今所入港	

記事

漁場ハ幕ラ口之永良部島西北西十三哩沖合ニ在ル俗稱梅吉曾根ト稱スル一大漁礁ニシテ該漁場ハ(最淺部六十尋内外ヨリ百二十尋ニ至ル淺礁)南北ニ長キ楕圓形ヲナス

試験期間中四月ハ暴風雨ノ襲來頻リニシテ殆ンド出漁ノ機會ヲ與ヘズ加フルニ變調潮流ノ影響ヲ受ケ海水ノ潤濁著シク釣獲不振ヲ極メシガ五月ニ入り天候恢復シ海況亦良好トナリ釣獲稍々振フ。

備考 尙ホ本年度三月中ノ試験ニ關シテハ試験施行上ノ關係ヨリ次年度事業報告ニ讓ル

一、朝鮮釜山近海ノ部